

ゴルフトーナメントのボランティアに参加して

亀田 孝志(登録会員)

ゴルフを始めて35年になりますが、定年を過ぎたころから自分がプレーしたり観戦するだけでなく、プロトーナメントのボランティアをしてみたいと思うようになりました。

そのボランティアを始めて数年が経ち、日本オープン、ABCマイナビ、サントリーオープンなどに参加しました。

最初は日本オープンでスコアラーをしたのですが、男子プロの歩くスピードが速いのに驚くとともに、追いつくのに大変な思いをしました。

テレビではグリーン周りでの時間をかけたプレーを見せられて、アマチュアのスロープレーがまん延していますが……。大いに反省させられました。

先日(6月15、16日)はサントリーレディスオープンでホールマーシャルの業務に行ってきました。ホールマーシャルは各ホールでのギャラリー誘導や、選手たちのプレーの妨げになるようなこと(声を出したり動いたり)を防止する仕事です。

ティーイングエリア、グリーン周り、2打・3打地点など受け持つ場所はいろいろですが、すべての選手のショットや動作などが観察できる楽しい仕事です。さらには、同じ場所で業務についてのボランティアと意見交換し、親睦を深めることができるという楽しみもあります。

6月15日(3R)は、2度も雷雨での中断があった末にサスペンディッドとなりました。担当の場所からボランティアルームまで帰る時間は、落雷の恐怖を味わいましたが、初めてのことで貴重な経験となりました。

今後も、体が許す限りボランティアに参加したいと思っています。

